

第3号

2016年1月25日

となみ 市議会だより

Contents

●12月定例会 代表質問内容	2
一般質問内容	3
●常任委員会報告	8
●特別委員会報告	10
●平成28年3月定例会の日程等	12

謹賀新年



市の考えを問う

12月定例会開催



砺波市

庄川と散居に広がる健康フラワー都市

市政のここが聞きたい！

代表質問



飯田 修平 議員
(自由民主党砺波市議会議員会)

砺波市人口ビジョン・なみ創生まちづくり総合戦略について

2060年の人口目標を4万人とした根拠と総合戦略の推進指針について問う。

夏野市長 国・県の推計方法を基本として、市民アンケートによる希望出生率2.0人をもとに、転入促進・転出抑制策にも取り組み、将来人口を4万人とした。この目標値を達成するため、「とみなみ創生まちづくり総合戦略」において、人口減少の克服・とみなみ創生をめざし、「産業と雇用」「交流と移住」「出産と子育て」「暮らしと地域」の4つの基本目標を掲げ、179の主な事業に取組む。今後、関係課の若手職員による横断的な検討を行う「重点事項検討会」を立ち上げるなど、総合戦略の実効性を高めていく。

平成28年度当初予算について

予算編成の基本方針と重点施策について問う。

夏野市長 歳入面で市税は一定の増収を見込んでいるが、普通交付税は、合併算定終了に伴う段階的縮減の2年次にあたることから減額が見込まれ、一般財源の増加は難しい。歳出面では、社会保障関係費の自然増、保育施設の整備など、将来のまちづくり事業費の増により、歳出全体では今年度よりもやや規模が大きくなる。不足財源については、補助金、有利な起債、基金の取り崩し等により、当初予算編成に努めたい。

重点施策としては、出町、南部の2認定こども園、新油田保育所の29年度開設に向けて準備を進める。やまぶき荘跡地の新健康福祉施設も29年度開設に向け整備を図りたい。

また、チューリップ公園北門のリニューアル、新砺波図書館

および新砺波体育センター建設事業の推進、中学校へのエアコン整備や、今年度から実施した三世代同居推進事業も継続し、事業効果の浸透を図りたい。

砺波総合病院の中長期計画（後期計画）について

砺波医療圏の役割と健全経営について問う。

伊東病院長 開業医との紹介・逆紹介の医療連携により、砺波医療圏での地域包括ケアシステムの中心的役割を担い、将来的に「地域医療支援病院」の承認を受けることで、診療単価の向上など収益の確保に努めたい。今後とも、中長期計画に基づき、砺波医療圏の地域中核病院、急性期病院として、安心で安全な質の高い医療を、地域住民の皆さんに提供していきたい。

市庁舎の耐震化について

第2次砺波市総合計画での位置付けと基金の創設について問う。

夏野市長 本庁舎は建設から50

年余りが経過し、老朽化、耐震化対応について議論する時期に来ている。今後、新図書館建設等大型事業が続くことから、財源措置も含め、庁舎の耐震化等に取り掛かる時期については、もう少し先に送らざるを得ない。

市庁舎は、災害拠点としても重要な建物であり、平成28年度に策定する次期総合計画に庁舎整備の方向性を位置付けた。

いずれにせよ多額の資金を要することから、庁舎の整備を目的とした基金を創設する方向で、できるだけ早期に検討していきたい。



砺波市役所 本庁舎



嶋村 信之
議員

「若者の夢へのチャレンジ 応援」について

学生を中心に若者が将来の夢を実現するためのチャレンジに補助金を支給できないか問う。

横山企画総務部長 本市において、とらみ元気道場や中心市街地創造研究会(パサージュ)など将来を担う若者グループを応援しているほか、Uターンを促進するため、現在、給付型奨学金の新設など奨学金制度の拡充について検討している。

今後、地方創生を進めていくのには「ひと」であり、特に若者が主体的に地域で活躍すること、地域の活性化に欠かせないことから、若者のチャレンジを支援する砺波市らしい方策を研究していきたい。

笑顔があふれる まちづくりについて

新年度におけるデマンド交通導入に向けての取り組みについて問う。



他市町のデマンド交通

池田福祉市民部長 本年8月に「新たな公共交通を考える研究会」を設置し、学識経験者、県、民間事業者などから幅広い意見をいただきながら、デマンド交通の導入を含め、市営バスの利便性向上について調査・研究している。

今年度中に次期ダイヤ改正に向けて一定の方向性を見出し、新年度には、市民や市営バス利用者の意見を聞くほか、アンケートや聞き取り調査などを取り入れながら導入に向けて関係機関との調整を図りたい。



山田 順子
議員

育児休業取得による未満児 の一時退園について

育児休業期間中の3歳未満児の一時退所について問う。

夏野市長 「とらみーていんぐ」においても、子育て支援について、数多くの意見・要望があり、改めて少子化、核家族化などによる、より一層の子育て支援が必要と感じた。

平成28年度は、施設的な制約があることから、転入者からの3歳未満児の入所希望を勘案しながら優先順位を定め、育児休業取得中の継続利用について可能な範囲で対応する。

29年度からは、新たな認定子ども園等が整備され、3歳未満児の受け入れ体制が整うことで、「育児休業による3歳未満児の退所」を「継続利用」に見直し、若い世代の子育て支援を推進していきたい。

チューリップ公園を通年利用 するための整備検討について

新砺波図書館と公園との連動について、今後の方向性を問う。

大浦建設水道部長 公園は歩いて5分ほどの距離であり、アクセス環境は既に整っている。気候が良い時期、本を借りて公園内の芝生の上で読むなど、今後チューリップ公園を再整備していくなかで、芝生広場、ベンチ等の効果的な配置、両施設をスムーズに行き来するための案内看板の設置などについて、新年度に予定する公園の実施設計において、検討していきたい。



保育所風景



桜野 孝也
議員

砺波の暮らし

体験事業について

移住・定住につなげていく取り組みについて問う。

牧野商工農林部長 暮らし体験では、砺波地方の郷土料理を低料金で提供しているほか、ボランティアによる砺波地方の歴史文化や散居村の魅力に関しての解説を行っている。このように「おもてなし」や「人の交流」を通して、施設利用の質を高めていくことで、今のところ宿泊体験料などの改正は考えていない。

また、新たに地域おこし協力隊による首都圏セミナーでの出向宣伝やSNSを活用した情報発信、地方定住に関する専門誌への掲載等、今後とも、移住・定住のきっかけとなるよう積極的に取り組みたい。

北陸新幹線開業2年目に 向けた取り組みについて

砺波市へ人を呼び込むための取り組みについて問う。

牧野商工農林部長 開業2年目に向けては、本市への誘客やリピーターの増加に繋げることに重点を置き、積極的な誘客キャンペーンを展開している。また、新たに、地方創生先行型交付金を活用し「花のまち」となみプロモーション充実事業」として、首都圏のJR駅等において、観光PR映像を放映するとともに切り花の配布等を実施していく。更に、地域貢献連携協定を締結した三大都市圏のイオンモール店において、本市のPRキャンペーンを順次、実施する予定である。



北陸新幹線



雨池 弘之
議員

2016となみチューリップ フェアの取り組みについて

チューリップフェアが第65回目を迎え、新たに取組もうとする計画について問う。

齊藤副市長 一つ目は、700品種300万本のチューリップで「砺波でしか見られない」というプレミア感と咲き誇る圧巻のチューリップを堪能してほしい。二つ目は、3月10日にリニールオープンする「四季彩館」の活用で、切花が一年中見られるチューリップパレス等、屋内ならではの「特別感」を出した企画にしたい。三つ目は、「市民パワープロジェクトの推進」であり、市民の皆さんによる来場者への「おもてなし」の充実を図る。また、会場内のゾーニングについては、本年度と同様に文化会館ロータリー側に入場門を配置する。

更に、外国人訪問者に対応したサービスとして、多言語の公式ガイドブックの作成に加え、ムスリム対応として、礼拝できる場所を確保し、ASEAN諸国からの誘客に努める。



チューリップタワー

フェア期間中走るギャラリー観光 列車「べるもんた」の運行について

フェア期間中の快速チューリップ号の臨時便に加え、「べるもんた」の運行もJR西日本に働きかけるべきと問う。

齊藤副市長 「快速チューリップ号」に加え「べるもんた」の運行については、3月以降の運行ダイヤは未定であり、来年のフェア期間を含め、引き続き運行されるよう、富山県をはじめJR城端線の沿線4市と連携を図り、JR西日本に働きかけていく。



有若

議員 隆

砺波総合病院の

医師の確保について

呼吸器科に常勤の内科と外科の医師を大学に招請し、診療体制の充実を図ることについて問う。

伊東病院長 人口の高齢化に伴い、肺疾患の患者は増加の一途を辿り、一般内科診療における呼吸器科医師の果たす役割は、益々高まっている。現在、本院では、大学病院からの派遣医師により、呼吸器内科が毎週月曜日の午前と木曜日の午後、呼吸器外科が毎週火曜日の午後に来診療を行っている。

呼吸器科医師の常勤体制は、診療報酬の確保や多忙な一般内科医師の疲弊を招かないためにも、是非必要であり、各大学医局に対し、医師の派遣を働きかけ続けている。今後も医師確保に向け最大限の努力をして行く。

伝統・地場産業の大門素麺の生産振興について

新規生産者と後継者に対する支援策について問う。

夏野市長 大門素麺は、本市の優れた特産品である「となみブランド」であり、地域資源であるが、年々生産者が高齢化する中で、後継者が少ないことから、後継者の確保や育成が大きな課題となっている。

そのため、本市としても生産者や関係者と協議を重ねていくところであり、関係者の意見がまとまり方向性が定まれば、それに向けた支援策を実施し、大門素麺の伝統ある製造技術の継承や後継者の確保が図られるよう、関係者とともに積極的に取り組んで行く。



大門素麺の生産風景



川辺

一彦 議員

第2次総合計画における 砺波型農業の展開について

平成30年産からの米生産目標数量の配分廃止に伴う農業戦略について問う。

夏野市長 本市では、平成28年度重点事業要望で国や県に対し、30年産からの米政策の見直しに当り、米の需要と価格の安定を図るための新たな仕組みを構築し、円滑に移行できるよう適切な対応を求めてきた。また、農業の将来ビジョンは、「活気ある、稼ぐ農業の実現」を主な施策の一つに掲げ、戦略的な取り組みを進めている。

第2次砺波市総合計画においては、30年産からの生産調整の見直しに対応して、担い手の育成・確保やタマネギ等の園芸作物による経営の複合化とブランド化、6次産業化の推進等について積極的な施策を検討し、盛

り込みたいと考えている。



タマネギの収穫作業

幼保事業の民営化に向けた柔軟な移行について

油田保育所の民営化には、保護者等から期待と不安の声が上がっているが、行政の関与による適切で柔軟な移行について問う。

山本教育長 油田保育所の移転・新築に際し、初めての民間活力を導入することで、市と引受法人及び保護者の「三者協議会」を設け保育所運営等に関する協議をしている。協議では、開所時刻の繰り上げや子育て支援センターの設置等、民営化のメリットを生かした今まで以上の保育サービスの提供も示されている。今後とも、保護者の皆さんに安心していただけるよう関係者がしっかりと連携し、円滑な課題対応に取り組むたい。



堀

武夫
議員

「となみーていんぐ」の
評価等について

次期総合計画策定にあたり、地区別に事務的説明会を開き、改めて校区単位での市民との意見交換会を提言する。

夏野市長 「となみーていんぐ」では、多くの建設的なご意見・提案を頂いたほか、ファックス等でも数々のご提案をいただき、次期計画に向けての意見聴取等所期の目的は、概ね達成できた。今回のご意見等は、総合計画審議会やまちづくり委員会等で検討し、反映できるものは計画に取り入れた。提言については、広報となみやホームページやパブリックコメント、各種団体の皆さんとの会議等を通じて、市民の皆さんのご意見を積極的に取り入れながら策定する。改めて地域での意見交換会を開く考えはないが、地域アンテナ隊の

活用や出前講座等地域の主体的な取り組みに積極的に向く。

観光列車「べるもんだ」の運行
に花を添えることについて

「べるもんだ」運行を機に散居景観と沿線の花が望めるよう線路沿いの水路畦畔、休耕田にヒメイワダレソウ、チューリップ等の植栽を提言する。

横山企画総務部長 多面的機能支払交付金事業として地域で環境保全活動が行われ一部水路畦畔等に花々が植えられている例もあり、沿線の活動団体に花が望める環境づくりを働きかけた。城端線活性化には、城端線活性化協議会等にも、花のある景観づくりを提案したい。



べるもんだ車内風景



山本

篤史
議員

除雪体制について

除雪メールを作り、当局との除雪関係者の素早い情報共有について問う。

大浦建設水道部長 本市は道路除雪実施計画に基づき、積雪10センチメートルを超え、さらに降雪が予測される場合には、各地区除雪対策委員会等に電話で出動依頼をしている。

直接電話連絡することで、何よりも確実に各地区の出動状況が把握できるとともに、市民からの問い合わせ等に対しても、該当地区ごとの実施状況を伝えることができるというメリットがある。

除雪メールには課題もあり、現在、県内で整備している市町村はないが、今後各地区除雪対策委員会等からご意見があればよくお聞きした上で対応を考えたい。



除雪作業

砺波青少年自然の家について

市内の小中学校の更なる利用促進について問う。

山本教育長 本市では砺波青少年自然の家が市内という立地条件、里山という自然環境にあることから、初めて友達と寝食を共にする小学4年生の最適な宿泊学習施設として、市内すべての小学校で利用している。市教育委員会では、砺波青少年自然の家からの依頼を受け、事業のチラシや案内を、市内小中学校に配布している。

今後もし市内にある県立の貴重な研修施設として宿泊合宿の利用を促したり、各種イベントの参加を児童生徒に呼びかけたりし、利用者の増加に協力していく。



大楠 匡子
議員

男女共同参画社会の 推進について

女性の就業状況は依然として厳しく、働きやすい職場環境の整備充実について問う。

齊藤副市長 本格的な人口減少と少子高齢化社会の到来を迎えるなか、少子化対策の施策としても、女性が長く働き続けられる環境づくりが不可欠であり、そのためには、就労を希望する女性が、その能力を十分に発揮できることや、仕事と子育て・介護などの二者択一を迫られることなく働き続けることができる職場環境の改善について、企業等への積極的な働きかけや情報提供は必要であると考えている。

過去には、男女共同参画推進員の活動の中で、働きやすい職場環境づくりへの取り組みを進めている市内の企業等を表彰し

た事例もあり、女性が働きやすい職場環境整備に取り組み企業を更に応援する仕組みづくりを検討したい。

「働く場における男女共同参画の推進」を砺波市男女共同参画推進計画（第3次）に明記することを問う。

齊藤副市長 本年9月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が施行されており、本市の第3次計画の中に、「男性の意識改革と職場風土の改革」「長時間労働の是正・休暇取得促進企業への支援」などを施策として組み込み、女性の働きやすい雇用環境の整備促進に努めたい。



男女共同参画推進の集い



島崎 清孝
議員

花卉生産について

花卉振興計画と中期ビジョン、切花生産の支援策を問う。

夏野市長 花卉産業と花卉文化の振興を図るため、昨年12月に「花きの振興に関する法律」が施行され、本年2月に、県の振興計画として、「花き振興基本方針」が定められた。

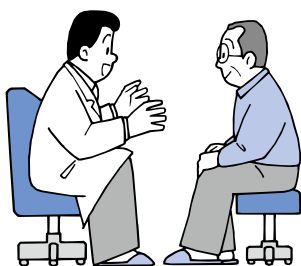
本市では、「とнами創生まちづくり総合戦略」に於いて集落営農組織など、新たに取組む生産者の発掘や支援、ネット栽培への取組み等を推進し、生産体制の充実を図っていききたい。新年度に向け、とнамиブランドであるチューリップ切花の生産拡大を図るため「とやまの園芸規模拡大チャレンジ事業」への取組みを関係機関と連携を図り、積極的に支援していく。

健康寿命の延伸について

データヘルス計画の新年度の主な取り組みを問う。

池田福祉市民部長 本年10月に中小企業等の従業員が加入する全国健康保険協会富山支部との間で、がん検診と特定健康診査の共同実施や検診データ等の相互利用を図るため「健康づくり包括協定」を締結した。

この協定締結に伴い、高齢者が多くを占める国民健康保険の被保険者のデータに、働き世代のデータが補完され、市民の約6割を占めるデータ分析が可能となる。これにより、地域の実情に即した特性の把握ができることから、健康課題の優先度に合わせて保健事業をより効果的に実施できるものと考えている。



常任委員会 報告

主な質疑・意見・要望事項

産業建設常任委員会

(12月14日)

中山間地域における農地中間管理事業の現状と課題について問う。

農地中間管理事業の目的には、農地の有効活用継続や中山間地域の耕作放棄地対策も含まれている。中山間地域においては、農地の受け手が見つかりにくいことから、平地に比べると農地中間管理事業の活用割合が少なく、農地の集積・集約化が進んでいない現状である。

今後については、地域における「人・農地プラン」の話し合いに、市も積極的に加わり、利用調整を図っていく必要があると考えている。また、この問題は全国共通の課題でもあることから、国の施策動向にも注視しながら対応していきたい。

道路橋りょう維持修繕費について問う。

国の交付金事業において、橋梁点検及び長寿命化修繕計画に基づく詳細設計委託料が確定したことから、その落札差額分である1千800万円余の財源を活用し、舗装補修工事の進捗を図っていく。具体的には、中部スーパー農道矢木・東

民生病院常任委員会

(12月15日)

やまぶき荘解体工事費の補正理由とその内容について問う。

やまぶき荘の解体工事にあたり、アスベスト調査が必要となるが、アスベストの有無だけについて事前調査をする、100万円を超える委託料の発生が想定されたことから、新たな健康福祉施設の基本設計及び実施設計の委託に合わせて調査することでアスベスト調査費用を抑えたところである。今回、その調査によってアスベストが検出されたことからアスベスト除去工事費などの補正となった。

補正の内容

容としては、アスベスト除去に係る工事費が1千800万円余りの増額、また、やまぶき荘の解体工事費については、労務単



やまぶき荘

総務文教常任委員会

(12月16日)

砺波市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定のうち、企業への対応及び関係部局との連携について問う。

議案策定までもに関係部局と連携してきたところであり、議決後も、引き続き企業への制度説明などの働きかけにより、地方拠点強化への動きを支援していく。また、該当企業のリストアップは、県の地域再生計画策定の中で既にいくつかの企業が挙がっており、優遇税制等をアピールしながら企業の地方移転の動機付けになるよう働きかけていく。

財産の無償譲渡についての根拠について、施設維持管理費用の取り扱い及び契約書の有無等について問う。

砺波市行政改革市民会議からの報告を受け、公共施設の適正配置を進めるうえで平成26年2月定例会において、当施設を廃止する条例の議決をいただいた。本来、解体すべきところであったが、庄川地域で有効活用を検討され、公共的

石丸線を考えている。

また、各地区からの要望もある市道の舗装補修工事に、国の補助金を活用する場合は、「アスファルト舗装のひび割れ率が40%以上であること」という国の基準を満たすものから順次、施工している。

【質疑項目】

- ・ となみ産業フェア・パワー博の結果、及び大学生等の就職に向けての促進・定着づくりの位置付け

- ・ チューリップ球根ネット栽培機械導入に伴う作業の効率化と今後の展開

- ・ パークゴルフ場の管理運営、及び利用状況と要望

- ・ チューリップ公園再整備計画の内容及と要望

- ・ 新たな消雪管の敷設工事、及び設置基準と周知

- ・ 散居景観モデル事業

- ・ 下水道事業の接続状況

- ・ プレミアム付商品券の換金状況

- ・ 市内商店街連盟の現状

- ・ と支援策



チューリップ球根ネット栽培機械

価、諸経費率などの高騰により700万円余りの増額となった。

国民健康保険事業における高額療養費の補正内容、及び今後の事業見通しについて問う。

高額療養費の補正内容は、退職被保険者の中に高額レセプトで月額800万円かかった方が発生したこと、入院費において5月、6月頃に例年にない伸びがあり多額になったためである。

事業見通しとしては、今後、予測できない流動的な要素もあることから、保険給付費が大幅に伸びる状況となれば基金の取り崩しや更なる増額補正の必要も出てくるが、現段階では今回の補正で賄えると考えている。

【質疑項目】

- ・ 病院事業における下半期の取り組み方針

- ・ 患者総合支援センター「おあしす」及び、まちなか包括事業の運営状況

- ・ 病院給食調理業務の民間委託

- ・ 入院・外来患者の減数要因と対策

- ・ がん検診受診率向上モデル事業

- ・ 介護人材の確保と処遇改善

団体に譲

渡するこ

ととなつ

たことか

ら、今議

会に議案

を上程し

た。そこ

で、安定

的な運営

を行うた

め施設費用の一部を3カ年助成することのこと。また、議決後は、双方合意する内容で契約等を締結することとなる。なお、

契約書には、注意事項を明示し、適正な維持管理に努めていただくことを考えている。

【質疑項目】

- ・ となみ庄川散居村縦断マラソンの課題と対応

- ・ 三省堂の教科書編集会議への出席の有無

- ・ 砺波東部小学校の螺旋水車マイクロー水力発電の現状と課題

- ・ 選挙権の年齢引き下げ対応

- ・ 屋外消火栓の管理状況

- ・ 公金受付窓口の利用状況

- ・ 災害状況と取り組み強化



無償譲渡となる旧庄川若者の館

地方創生・人口減少 対策特別委員会

地方創生総合戦略の取り組みを推進するとともに、人口減少の克服に向けた施策について、6月22日・7月10日・8月3日・9月2日に委員協議会を、10月2日・13日に委員会を開催し、協議した。

委員会・委員協議会報告について

市の人口の現状を分析し、将来展望を示す砺波市人口ビジョンをもとに、今後5ヶ年の目標、施策の基本的方向性と総合戦略についての計画を協議した。

砺波市人口ビジョン・総合戦略については、議会と行政が車の両輪となって推進することが重要であるとの認識のもと、砺波市人口ビジョン・総合戦略の策定段階から議会の意見を施策に反映させるため、2060年の目標人口4万人とする人口ビジョンからの項目を審議し、次いで人口ビジョンを踏まえた総合戦略の審議を行った。

地方創生「砺波市人口ビジョン・総合戦略」に関する提言書について

10月8日、地方創生「砺波市人口ビジョン・総合戦略」に関する提言書を市長へ提出した。その中でも、若い世代が結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる環境づくりには、未婚化・晩婚化の社会現象が進んでいることから、婚活支援事業の推進を強化することが先決であるとの結論に達した。

「となみおせっ会」との意見交換について

12月14日、本市で活動する婚活応援組織「となみおせっ会」と意見交換を実施した。おせっ会の皆様のご尽力も含め婚活支援活動の現状と課題について理解を深め、議会としても、この問題について研究していく必要があると感じた。



観光振興・城端線活性化 対策特別委員会

7月31日、観光振興に関する委員協議会を開催。以下の内容について協議した。

砺波市の観光振興策について

砺波地方には魅力・伝統ある夜高が受け継がれているので、連携して観光客にPRすると良いのではないか。

「コンベンション誘致について

これまで宿泊施設となっていた大手施設の廃業により、受け入れ体制の見直しによる影響が懸念される。

グリーンツーリズムについて

これまでの参加者の6〜7割は中京方面からであり、北陸新幹線が開業したので、関東方面への積極的な誘客を進めることが必要である。

産業観光の推進について

市内には産業観光施設が現在4社ある。今年度から富山県花卉球根農業協同組合も受け入れを開始

している。

城端線活性化について

10月25日、南砺市議会の観光・公共交通等対策特別委員会と合同で研修会を開催した。まず、城端駅から城端線観光列車「べるもんた」に乗りし、30分あまり車両を体験した。

その後、油田駅前の大正蔵で県の知事政策局の今村課長から「北陸新幹線の開業効果を高める取組みについて」の講演を聞き意見交換した。主な意見は次の通り。

- ・北陸新幹線の開業により、観光地の入込み客数や宿泊施設等の利用者が数が増えているので、城端線の利用者増につなげる取り組みが必要。

- ・城端線の車両の更新やICカードの導入が今後の課題。



決算特別委員会報告

(12月2日)

国民健康保険事業特別会計の
未収金対策について問う。

未収金対策としては、税務課に嘱託徴収員を配置しているほか、口座振替の推進、督促状の発送、年5回の催告書の発送、電話催告や訪問による徴収などを行っている。電話催告については、年5回のうち4回は市民課と合同で実施している。そのほか、長期滞納者には、短期被保険者証の発行、悪質と判断した場合に資格証明書を発行し、また、財産・預貯金等の調査結果から、差し押さえ執行が可能となれば実施している。

【質疑項目】

- ・公共工事の早期発注状況
- ・市内業者への発注状況
- ・福祉センター管理運営費
- ・企業誘致に係る土地等の整備方針
- ・新たな消雪管の敷設実績
- ・保育所費の不用額発生理由
- ・病院事業会計の医業費用
- ・外14項目の質疑

12月定例会の動き

- | | | | |
|---------|------------------------|---------------|----------------------|
| 2日 本会議 | 会期の決定・決算認定
市長提案理由説明 | 14日 産業建設常任委員会 | |
| 10日 本会議 | 代表質問、一般質問 | 15日 民生病院常任委員会 | |
| 11日 本会議 | 一般質問、質疑
議案の委員会付託 | 16日 総務文教常任委員会 | |
| | | 18日 本会議 | 委員長報告、質疑・討論
議案の採決 |

12月定例会提出案件

【予 算】

- 平成27年度砺波市一般会計補正予算(第3号)
 - 平成27年度砺波市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
 - 平成27年度砺波市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)
 - 平成27年度砺波市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 - 平成27年度砺波市水道事業会計補正予算(第1号)
 - 平成27年度砺波市病院事業会計補正予算(第1号)
- 〈以上、全会一致可決〉

【条 例】

- 砺波市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について
 - 砺波市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について
 - 被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について
- 〈以上、全会一致可決〉

【その他】

- 財産の無償譲渡について
旧庄川若者の館(庄川町示野103番地)を青島地区自治振興会へ譲渡
 - 指定管理者の指定について
となみ散居村ミュージアムを公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団への指定管理(平成28年4月1日～31年3月31日)
 - 砺波広域圏事務組合規約の変更について
- 〈以上、全会一致可決〉

【決 算】

- 平成26年度砺波市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

○平成26年度砺波市一般会計歳入歳出決算認定について 外7件

〈以上、全会一致可決・認定〉

【一部事務組合議会議員の選挙】

- 庄川左岸水害予防組合議会議員の選挙結果(当選人)
山森 文夫氏、飯田 修平氏、井上 五三男氏、今藤 久之氏、宗景 昭氏、森 重雄氏、寺井 武彦氏
- ※庄川左岸水害予防組合は、平成28年4月1日に右岸組合と統合する予定であり、次期の議員の任期は、28年2月25日から32年2月24日までとなり、砺波市選出の議員は7名となる。

【人 事】

- 砺波市教育委員会委員の任命について
信田 千春氏 <同意>
- 砺波市公平委員会委員の選任について
河原 幸夫氏 <同意>

【議員提出議案】

- 高齢者の交通死亡事故の防止に関する決議
〈全会一致可決〉

<提案理由>超高齢社会の到来というかつて経験したことのない新たな時代を迎え、高齢者の交通死亡事故防止対策は、今後、益々厳しい状況となることが懸念される。

高齢者の交通死亡事故は、高齢者の歩行時にも運転時にも発生しており、市民一人ひとりが、今一度、交通安全の基本を再確認することや、高齢者に対する交通安全教室等を通じた交通ルールの普及啓発が重要である。また、高齢者を地域全体で見守る活動や高齢者にやさしい交通環境づくりが必要である。

よって、本議会は、市を挙げての高齢者の交通死亡事故を防止する実効性のある取り組みを早急かつ強力に推進し、安全で安心な砺波市の実現を期すものである。



議会活動報告 (10月～12月)

- 10月 2日 第6回 議会改革検討委員会
6日 民生病院常任委員会行政視察
(～8日)
14日 民生病院常任委員会委員協議会
福島県田村市議会 行政視察来庁
20日 議会運営委員会行政視察(～21日)
21日 兵庫県相生市議会 行政視察来庁
22日 東京都羽村市議会 行政視察来庁
23日 議会全員協議会
総務文教常任委員会委員協議会
26日 岐阜県土岐市議会 行政視察来庁
27日 青森県十和田地域広域事務組合議会
行政視察来庁
28日 岡山県倉敷市議会 行政視察来庁
佐賀県伊万里市議会 行政視察来庁
29日 福岡県田川市議会 行政視察来庁
11月 5日 栃木県真岡市議会 行政視察来庁
11日 議会運営委員会
民生病院常任委員会委員協議会
13日 黒部市議会 行政視察来庁
20日 議会運営委員会・議会全員協議会
27日 12月定例会 議案説明会
12月 10日 第7回 議会改革検討委員会
16日 第8回 議会改革検討委員会
17日 群馬県渋川市議会 行政視察来庁
18日 第4回 委員会委員長会議

3月砺波市議会 定例会の日程 (予定)

- 3月 2日(水) 本会議、議会全員協議会
10日(木) 代表質問、一般質問
11日(金) 一般質問
14日(月) 産業建設常任委員会
16日(水) 民生病院常任委員会
17日(木) 総務文教常任委員会
22日(火) 議会全員協議会、本会議
※日程については、2月10日(水)開催の議会運営委員
会で正式に決定します。



産業建設常任委員会
行政視察

富山スマートアグリ次世代
施設園芸拠点整備協議会



民生病院常任委員会
行政視察

富山県立中央病院
ドクターヘリ



総務文教常任委員会
行政視察

富山市図書館・ガラス美術館

あとがき

謹んで年頭の御祝詞を申し上げます。
北陸新幹線が開業し、新時代を迎え、
首都圏までの時間が大幅に短縮され、
利便性も高まりました。

何もかもがスピード化する世の中で、
ただひとつ、人と人のつながりだけは
時間をかけなければなりません。

また、地方創生を考えると、経
済・雇用・環境整備も大切です。しか
し、その真ん中にあるのはいつも人
であり、施策のすべてが目指すのは「人
の幸せ」でなければなりません。

市議会では、常任委員会以外に、特
別委員会を設置していますので、その
取り組みについて今回、掲載しました。
昨年の世相を表す漢字の第1位は
「安」でした。今年も市民の皆様の負
託にお応えし、「安心安全な社会」を
目指し、皆様のお声に耳を傾け、今後
の活動に精進を重ねてまいりたい、と、
決意を新たにしているところです。

砺波市議会広報編集特別委員会 一同